

(広告)

歴史に人あり 人に志あり 企業に魂あり

魂の志の業の企

一橋 三朗

http://kigyonokokoro.com/

Vol.1221

2016.7.10

菊地 齒車

「発展調和」を主題として 歯車専門の志を貫く

（秋山真之は「知識湧く」んだ。「主題のある人生をが如し」と謳われた天才参 送る為、人生は単純であ 謀。来襲するバルチック艦 るべきだ。余計なことを構 隊をこごとく沈めるとい わずに、ただその目的の 奇跡でも起きない限り実 にだけ生きよ。まさに真之 現困難な作戦の立案者であ は主題のある人生を貫いた。 り、見事成し遂げた名指揮 菊地 齒車(株)代表取締役 官だ。真之は戦いに臨んで 役社長・菊地 義典氏は、 元好古の言葉を心に刻み込 1940年(昭和15年)の創

立以来、まさしく歯車の如 くの和を重ね、志を連動 させ続けながら今日まで専 業メーカーとして、主題を 貫いてきている業界出色の 実力派企業。その主題とは 「発展調和」というモットー に裏打ちされたバランス経 営に他ならない。自動車関 連から建設機械、事務機器、 産業機械、印刷機械、航空 宇宙まで、幅広い領域に信 用と実績を積み、それが堅 実経営の秘訣であり、強み でもある。オンリーワンの 歯車づくり、海外進出をす

ることもなく日本国内で、 歯車ひとすじに、ひたむき に誠実に取り組んできた技 術力の確かさこそ、他社と の差別化を導いた要因と言 えよう。ただ歴史が実績に 甘えての空気が微塵もない、 より高い技術への取り組み、 一級技能者の国家資格取得 など、社員の高技術レベルの 優秀さも定評のあるところ だ。顧客満足...というその 目的の為に、全社一丸となっ ての研鑽体制が清々しい。

足利市福富町28-30

サンユーエンジニアリング

「益者三友」受け継ぐ 信頼の技術屋集団

（論語の孔子は「益者三友は 難し」といっている。益者三友とは「益者三友」といって良い友 時勢にあっても揺るぎはし 人の三つを挙げていた。即 ない。逞しい挑戦精神と先 ち「直き(正直な人)を友と 見性によって必ず伸展して し、諒(誠心な人)を友とし、 くるものだ。「益者三友」は 多聞(もの知りな人)を友と 企業成長の根幹でもある。 する人は益なり」がそれだ。 サンユーエンジニアリ 企業も全く同様で、直き・ ング(代表取締役社長、 諒・多聞の取引先と社員を 上野高道氏は、エネルギー、

薬品、化粧品、食品など、用 途の異なるプラント設備全 般の設計・製作から施工ま でを一貫して行う生粋の 技術屋集団。大企業とはひ と味違った精神が集い、切 確な磨き合いながら、大組 織にも決して引けを取らな い技術力を有する技術の確 かさ、高さが同社の頼もし い武器だ。中小企業にあり がちな同族経営でもなく、 社内はフラットで和気藹々、 社員一人ひとりの強い相互 信頼、チームワークこそが 一丸となって、いい仕事を 目指す要因ともなっている。

まさしく「益者三友」が如く、 直き社員、諒なる取引先、多 聞なる技術の統合で紡い だ良質の経営と言えよう。 「仕事は厳しい中にも楽し く行い、社員、家族、関係す る人、ひいては全ての人 が 幸せになれるよう努力する」 が経営理念の一環であり、 1973年の設立から40年 余の歴史を刻んだ今も変わ ることがない。サンユーの 社名は「益者三友」に通じ る人が財産の基軸である。

目黒区上目黒3-6-16

カーセブンティペロプロメント

俊敏奇警が動かす 自動車流通の新システム

（高杉晋作は、維新の立 有為の民衆を結集し、遂に 役者の中でも「その俊敏奇 徳川二百六十年の天下に幕 警」右に出る者なし」と謳わ を引かせた。企業も礼儀を れた傑物であった。人心の 持って事業に取り組みなが り、時代の要請に対して常 分を問わず「志」のみを参加 に、俊敏奇警、たり得たい。 資格とした。奇兵隊を創設。 (株)カーセブンティペロプロ ント(代表取締役社長、 「礼儀を本とし、人心に背 メント)は、メーカー かざる様」をスローガンに 井上貴之氏は、メーカー

や新車・中古車を問わず、 伸張ぶりを。基本的な サービスはもちろん、用品 販売、ローン、保険等の金融 サービスをはじめ、消費者 に優しい商品・サービスの 開発に余念がない。さすが 高杉晋作の「奇兵隊」の如 く、高い志をもったパート ナー(加盟店)の賛同を得て 「クルマのことならカーセブ ン」という評価が日増しに高 くなっていく。これまでの 常識を変えるクルマ選び、 同社こそ、俊敏奇警、を地 で 行く究極の俊英グループだ。

中央区日本橋堀留町1-10-1

日本シーム

熟成の技術と大志 地球環境に貢献

（武田信玄は「いかに時 した果実は、時期外れの促 を急ぐとも春より秋には 成栽培より断然味がいいも 飛び越し難し」という言葉 の。企業も焦らず、慌てず を遺している。功を無くて じっくりと力を培って着実 失敗することをたしなめ に伸びてきたところほど、 た名言だ。仮に成功しても、 足腰が強く(中身)も濃い。 春から秋に飛び越すような やり方ではいつか必ず反動 役・木口 達也氏は、新規開 発、製造を行うメーカー機

能と、フロントのプロデュ ースから設置、試運転まで、一 タルケアするエンジニアリ ング機能、自社製品及び他 社製品のメンテナンスを行 う テナンス機能を三本の主軸 としている正統派企業。プ ラスチック機械の専門メー カーとして、様々な製品の 再利用、再処理を有効にで きる手段を追求し続け、粹 粋、混合、洗浄等のリサイク ル技術開発に研鑽を重ねて おり、その高い技術力、先見 性には定評のあるところだ。 「ゼロから機械を創造する

川口市安行北谷665

後藤裕二 司法書士 事務所

「幸勝なし」の業務遂行 白眉のプロフェッショナル

（曹操の魏軍は「戦う毎 しないことだった。そして に必ず克ち、軍に幸勝なし」 第三は負け戦から必ず教訓 と評された。その秘訣は曹 を引き出した、同じ負け方 操の戦い方であった。第一 をしななかったことである。 は「孫子の」勝算なきは戦 現代ビジネスに置き変えて うなかれ」であり、勝てるこ も学ぶべき点は少なくない。 という見通しをつけてから戦 いを挑んだことだ。第二は 書士事務所(所長、後藤裕二 氏)は、不動産売買などの

各種登記申請における手続 声を弾みとしている。まさ きの代理、書類作成等を行 う不動産登記業務に強みを やるべきことを成し、誠実 にもお客さまの懐に入っ て、 業務というの地味だが、キメ細かく対応する。基本 不動産売買という高額な取 引引き及び買物をバック したと見えよう。プロと アップする重要な役割だ。 しての敵しく鋭い目とお 客さまに接する心配り、気 が配られており、新規に 遣いのやさしい目の二つが 開所した際には相当の苦勞 がつきまとう。そんな中、 同所は着実に信頼を積み重 ね、後藤先生なら安心して 任せられる「知り合いの相 談にのって欲しい」という

千代田区丸の内1-8-3